

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

1

VOL.7
2012.01.01



航研長距離機

ワールドレコードを樹立、全世界から注目された航研長距離機。

航研長距離機

「航研」とは、大正7年(1918)に設立された東京帝国大学航空研究所です。昭和8年(1933)、航研において、世界の飛行記録に挑戦するため長距離機の試作を行いました。この試作機は「航研機」の愛称で呼ばれました。その当時は世界各国では次々に新記録が樹立され、航空機の進歩はめざましく、世界と勝負できる試作機が完成したのは昭和12年3月のことでした。

そして翌昭和13年5月13日から15日の3日間にわたり、関東平野の木更津～太田～平塚(1周401.759km)の三角コースを無着陸で29周し、滞空時間62時間22分49秒、周回飛行距離1万1651.011km共に世界記録という偉業を達成、FAI(国際航空連盟)の公認記録となりました。悪天候や機内照明の故障などで着陸しましたが、さらに1,200kmは航続できる燃料が残っていたと言います。

この飛行を藤田雄蔵機長と共に成功させた高橋福次郎操縦士は、富岡市高瀬出身の名パイロットでした。高橋操縦士は昭和6年に旧制富岡中学校を卒業後、陸軍飛行学校に入学し航空兵として入隊、明野陸軍飛行学校の助教となります。その後の偉業達成により、緑色有功章を受賞、天皇陛下に単独拝謁を許され、昭和14年には朝日新聞社より朝日文化賞も授与されました。しかし同年2月、藤田少佐と共に飛行中に戦死を遂げ、航空兵少尉としてその輝かしい人生を終えました。

CONTENTS

ガバナーメッセージ 新年を迎えて	P2	ガバナー月信についてのお願い	p28
地区幹事だより	P3-6	新会員紹介／訃報	p29-30
米山校友会クリスマス会開催報告	p7	ロータリー文庫通信	p31
青少年交換委員会報告	P8-9	出席報告	p32
ガバナー公式訪問報告	P10-26		
2011～2012年度・2012～2013年度 地区主要行事一覧及び周年行事予定クラブ	P27		



国際ロータリー 第2840地区
安藤ガバナー事務所
tel:027-370-2840
fax:027-370-2841
e-mail:ando@rid2840.jp

新年を迎えて



国際ロータリー第2840地区
2011-2012 年度
ガバナー 安藤 震太郎



皆様、新年明けましておめでとうございます。思えば昨年今頃、私はガバナーエレクトとして来る国際協議会へ向け準備を進めておりました。その2ヵ月後に我々の生活や思考を一変させる東日本大震災が発生することなど一体この時誰が予想できたでしょうか。

毎年年末に発表される「今年の漢字」ですが、2011年は「絆」でありました。私にとりまして、昨年ほど「絆」の持つ力の大きさを実感した年はありませんでした。震災発生翌日の「会長エレクト・次年度幹事研修セミナー」では、大きな余震が続き、大幅な縮小開催となり会長・幹事の皆様にはご不便をおかけしてしまいましたが、たくさんの方に出席いただき皆様の責任感とロータリーへの強い思いに打たれました。また、福田一良直前ガバナーの呼びかけのもと、皆様一人一人から集められた義援金は大きな力となり、被災地区復興を支援することができました。そして皆様の「何か力になりたい」という思いは『ロータリアンがロータリアンをサポートする観光案内』作成へと繋がり、最大の行事である地区大会は皆様のご協力と友情で無事終える事ができました。勿論、公式訪問も然りであります。「絆」がいかに大きな力となるかを目の当たりにし、そしていかにその「絆」に支えられ生きているかを教えていただいた一年でありました。

昨年年初の国際協議会におき、カルヤン・バネルジーRI会長はテーマに「こころの中を

見つめよう・博愛を広げるために」を掲げ、強調事項の一つに置いた「変化」について、『世界を変えたいと願うならばまずは自身が変化の担い手にならなくてはならない』と述べました。私はこの言葉を地区のセミナーや公式訪問の際皆様へ伝えようと試みてまいりましたが、東日本大震災では、まさに一人一人が行動し「変化の担い手」となったからこそ多くの人を救い、支え、そこに「絆」を生んだのだと思います。これこそまさにバネルジー会長の唱える「博愛を広げる」という事なのではないでしょうか。やはり行動なくして結果は生まれません。「世界を変える」のは簡単な事ではありませんが「自分が行動する」であればどうでしょう。小さな変化も積もれば大きな結果となります。

さて、今月はロータリー理解推進月間です。私は本年度の地区目標の第一に「ロータリーを学びましょう」と掲げ、知っているはずのロータリーを「伝える」事を前提にもう一度深く学びましょうと訴えました。我々が行っている様々な奉仕活動を世の中の人々に「伝える」事がロータリー理解推進月間の大きな目標であります。ぜひロータリーについての知識と理解を一層深めて下さい。そしてロータリアンではない方々へロータリーの事を良く知ってもらう為の活動やプログラムを実施しましょう。特に1月は家族や友人と過ごす時間も多はずです。皆さん、今年も小さな変化・行動から積み重ねてゆこうではありませんか。

地区幹事だよりI アンケート実施(1月中の予定)のお知らせ

地区幹事 島津 文弘

2011-2012年度の地区目標ともなっております「チェンジメーカー賞」の進捗状況につきまして各クラブ様へアンケートを実施させて頂く予定です。後日改めまして、アンケート用紙を配布させて頂きますのでご協力をよろしくお願い致します。

地区幹事だよりII 地区運営資金・事業資金(下期)お振込み手続きのお願い

地区運営資金・事業資金送金案内書(下期)を、各クラブ様へ別途お送りさせて頂きます。お手数ではございますが、1月31日までに送金手続きを行って頂けますようお願い致します。

地区幹事だよりIII ロータリー・カード推進へのご理解、ご協力の御願い

ロータリー・カードを利用することで、東日本の災害復興を助けることができます。詳しい資料とロータリー財団委員及び東日本震災復興基金日本委員会委員長の小沢一彦様より届きました書面を下記掲載させて頂きます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

日本のロータリアンの皆さん 一人一人のロータリー・カード利用が、 東日本の災害復興を助けます！



2011-12年度 ロータリー財団地域セミナー (Zone1,2,3)
2011.11.23(大阪)

ロータリー・カード コーディネーター
第1ゾーン 佐原 元(喜多方RC)
第2ゾーン 関 博子(東京世田谷中央RC)
第3ゾーン 小林 完治(岡山西南RC)



1 ローターリー・カードで東日本復興を！TRFが決定

この度、ロータリー財団管理委員会は、「2012年12月31日まで日本のロータリー・カードのロイヤリティ0.3%は、ポリオ撲滅資金でなく、東日本復興基金として使用する事を決定」ロータリー・カードで日本の復興を支援する事になりました。

2 ロータリアンは今、何をすべきか？

国難の時、未曾有の「東日本大震災」でロータリアンは何を気付かされたのでしょうか？私たちは、夫々の地域で職域のリーダーを自認・自任するロータリアンとして被災地域から何を求められているのでしょうか？

これは、全ロータリアンに問われている課題です。

3 東日本大震災で被災者の思い

被災された方達は、「生きる」「生活する」「働く」「自立する」「家族を養う」「事業で社会に貢献する」「地域社会を守る」など、今を生きる日本人として一所懸命に頑張っておられます。

4 「ライフ・ライン」から考えよう！

現金を使う・・・生きることを支援する電気、水道、ガス、食料、ETC、電話、・・・

『ライフ・ラインに苦しむ、被災者とライフ・ラインで思いを共有すること』

『日常生活でロータリアンが家族と一緒に東日本の復興』のために誠意を示す手段として、ロータリー・カード利用は最高のチャンスではないでしょうか？

5 「ライフ・ライン」から考えよう！

日本人は「腹(肚)から」の民族です。国を憂えるロータリアンとして、被災し困っている同胞にせめてもの思いやり(誠意)を日常的にロータリー・カードを利用し、オール・ジャパンで支援を実行しようではありませんか？

『生きる事』を「ライフ・ライン」から支え励まし心を伝えたいと考えます。

6 《チリも積もれば山となる》 まずは1円から

9万人のロータリアンが1万円の現金払いを、カードでの決済にすると、270万円復興基金へ寄付が出来ます。

$$90,000人 \times 1万円 \times 0.3\% = 270万円$$

同時に、本人は得られるポイント(0.5%分)を年次寄付などに利用でき、更に各種の保障や特典があります。

7 ローターリー・カードはロータリアンの身分証明書！

ロータリー・カードはロータリーバッジと同じく、ロータリアンのステータスであり、身分証明書です。カード利用で、会員の手数料など、負担なしで、R財団、日本復興基金に貢献できます。誇りをもって、ロータリー・カードを示して、ご利用下さい。

Rゴールド・カードは年会費が必要ですが、より大きく貢献でき、大きな特典が得られます。

8 日本を『住みよい、暮らし易い、良い国に』する為に、

『Reach Within To Embrace Humanity』

未だ、ロータリー・カードをご利用されていない方に、今、ここで、カードを取得し、利用することを決心して下さいませんか？そして、実行して下さい。

「自分が変われば、周りが変わります」

「超私の奉仕」を掲げるロータリアンとして、ロータリーカードを使って、東日本の復興を早めましょう！

9 単筒クレジットの活用を！

ロータリー・カードの80%は単筒にしまわれ、忘れられ利用されていません。

スタンダード・カードは3年間、利用されないと、自動的に失効になります。

「東日本震災復興基金」へのロイヤリティー(0.3%)の寄付は、2012年12月31日までになりました。

10 ローターリー・カードの簡単な取得法！

1) Webから早く、手続きも入手も簡単！

<http://orico.jp/rotary>

カード取得後、引き落としの手続きが必要です

2) ローターリー・カード入会申込書

3) 配偶者カードもお勧め

ロータリー・カードはロータリアンには他のカードより有利なカードです。日常で生活習慣的にご利用を！

11 クラブ費用はロータリー・カードで決済を！

クラブの支出・・・家賃、電気、水道、例会費、会場費、などカード決済できるもの全て

1) クラブ会長名義のカードを作る

年度毎、会長名義カードで4月まで、ポイントはクラブに

2) 世話人カードで立替払い

クラブの支払いはその都度、「世話人の個人カード」で立替払いをし、立替分を、クラブから現金で受け取る (ポイントは立替えた方に)

12 地区ガバナーにお願い！

ロータリー・カード普及の為に

1) 地区ロータリー・カード担当者を1名任命して下さい

目的: 例えば、ガバナー補佐を担当者にし、地区内のカードの推進、利用実績の把握、報告など

2) クラブカード担当者・・・例えば、クラブ財団委員長カードの理解とカードの推進を担当

3) ガバナー補佐の協力により、地区内各クラブへのカードの理解と利用を奨励

13 ローターリー・カード利用の現状(日本、2011年9月現在)

カード会員数	6,708枚
ゴールド・カード	912枚
スタンダード・カード	5,796枚
カード会員率	7.5%
カード会員率100%以上のクラブ	4クラブ
財団への貢献額	500万円/年
会員ゼロクラブ	850クラブ
会員ゼロクラブ率	36.9%

14 田中作次RI会長年度へ

オール・ジャパンで復興支援を！

2012年7月我が国で3人目のRI会長に田中作次氏が就任。田中RI会長エレクトは「全日本、全ロータリアンがロータリー・カードを取得し、日常生活で家族と共に利用し、復興支援に協力を！」と、全地区ガバナーにメッセージを送られています。

また、財団管理委員の小沢一彦氏は、前例の無い「東日本震災復興基金・日本委員会」を立ち上げて、ロータリアンの誠意を期待して、東日本の復興に奔走されています。

ぜひ、ロータリアンもRカードを活用し、思いを一つにして、オール・ジャパン・ロータリアンの心意気を示そうではありませんか！

ROTARY INTERNATIONAL

平成 23 年 12 月 14 日

クラブ会長各位

クラブ会長エレクト各位



ロータリー財団管理委員

東日本震災復興基金日本委員会委員長

小沢 一彦

拝啓 師走に入り慌ただしい毎日ですが、皆様方には益々ご清祥のこととお慶びを申し上げます。平素は国際ロータリーの財団活動にご協力いただきまして有難うございます。

この度の東日本の大震災、大津波そして原発事故は、国内外の厳しさの下で、まさに 国難の様相を呈しており、職域のリーダーとして日本のロータリアンは避けることの出来ない問題です。ロータリー財団管理委員会は、『東日本震災復興基金日本委員会』を承認し、東日本の被災現地の要望に応えた効果的な救援プロジェクトが広範に展開されています。(ロータリーの友、11月号17頁、12月号24頁)

また、ロータリー財団は、東日本の震災復興の大事に鑑み、日本の全ロータリアンが復興支援に参加できるように、ロータリー・カードのロイヤリティ(カード利用額の0.3%とゴールド・カード年会費10,500円のうち、3,000円)を復興基金として利用するよう決定しました。(2012年12月31日まで)

私は、日本の総てのロータリアンが、ロータリー・カードを取得し、身分証明書として日常生活で使用して復興支援に協力して頂きたいと考えています。貴クラブにおかれましても、カード普及のために、早急にロータリー・カード担当者(例えばクラブ財団委員長)の任命をお願いします。担当者には、添付のパワーポイント、資料を参考にしてロータリー・カードの意義について理解を深めて下さるようお願いいたします。

カード利用のロイヤリティは、僅かですが『9万人のロータリアンが夫々、1万円を現金でなくカードで支払うと、270万円が復興基金へ寄付さ

RI Japan Office
NS3 Building 1F
2-51-3 Akabane
Kita-ku, Tokyo
115-0045 Japan
tel (81-3) 3903-3161
fax (81-3) 3903-3781
www.rotary.org

ROTARY INTERNATIONAL



れます』 チリも積もれば、山となり、多額の復興基金が得られるのです。今、被災地の方々とライフラインへの思いを共有して、貴クラブ及びご自宅、会社などのライフライン（電気、水道、ガス、食料、電話など）の料金をロータリー・カードを通して決済することをお願いします。日頃から、ロータリー精神である思いやり（誠意）の心を一般社会の人たちに理解して頂くことは重要で、カードの利用は絶好の機会です。

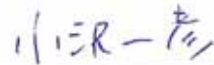
来る 2012 年 7 月から、田中作次国際ロータリー会長年度が始まります。田中会長エレクトは全地区ガバナーに『全ロータリアンがロータリー・カードを取得し、日常生活で家族と共に利用し、復興支援に協力を！』とメッセージを送られました。貴クラブの皆様もご家族と一緒に、カードを身分証明書として、誇りを持って立ち上がり、オール・ジャパンで日本の復興支援活動をして、田中会長年度の盛り上がりの世界のロータリアンに示したいものです。ご協力をよろしくお願い致します。

貴クラブの来年度益々のご発展を祈念いたしております。

敬具

日本のロータリアンの皆様へ

『ロータリー・カードで東日本の復興を！』



ロータリー財団管理委員

小沢 一彦

RI Japan Office
NS3 Building 1F
2-51-3 Akabane
Kita-ku, Tokyo
115-0045 Japan
tel (81-3) 3903-3161
fax (81-3) 3903-3781
www.rotary.org

添付文書；

- 2011-12 年度ロータリー財団地域セミナー、パワーポイント資料：
『日本のロータリアンの皆さんへ、ロータリー・カードで東日本の復興を！』
- ロータリー・カード・コーディネーターからのメッセージ： 「一人一人のロータリー・カード利用が、東日本の災害復興を助けます！」

米山学友会クリスマス会開催報告

国際ロータリー第2840地区
2011-2012 年度
地区副幹事 川本裕明

12月11日(日)高崎ビューホテルに於いて、米山記念学友会主催によるクリスマス会が盛大に行われました。当日は、安藤震太郎ガバナー、疋田博之ガバナーエレクト、高木貞一郎米山記念奨学会常務理事、王宇新米山学友会会長をはじめ、地区役員、米山記念奨学生及びカウンセラー、米山学友と大変大勢の皆様方に参加していただきました。

開会に先立ち、安藤ガバナー・高木米山記念奨学会常務理事・野辺米山奨学委員長・王学友会会長より歓迎のご挨拶をいただいた。そして、疋田ガバナーエレクトより「乾杯」のご発声を頂き会食・歓談となった。

本年度は、学友会会長が新しく王宇さんに代わったこともあり、例年のスタイルを少し変え、司会を米山学友の劉那さんに務めて頂き、進行の全てを学友会で仕切って頂きました。その為、終始和やかな雰囲気の中、会は進んで行きました。

そんな中、米山記念奨学生と学友会の方々より近況報告をしていただき、それぞれの方々が元気に勉学に励んでいる様子が伺えて安心致しました。

その後、クリスマス会では恒例のビンゴゲームで一足早いクリスマスプレゼントを皆が受け取り、楽しいひと時を過ごしました。

楽しい時間はあっという間に過ぎるもので、参加者全員で記念に写真を撮り閉会となりました。



青少年交換委員会 報告書 第1回オリエンテーション I部 クリスマス会 II部

青少年交換委員会
委員長 峯岸 則幸

日時： 2011年12月18日(日) Am10:00 ~ Pm2:00

場所： 高崎ニューサンピア

目的： 派遣交換学生・保護者・スポンサークラブの皆様へ青少年交換
プログラムの主旨と目的の説明とクリスマス会開催

出席者： 57 名

オリエンテーション・自己紹介

【短期交換】	【保護者】	【スポンサークラブ】	【長期交換】	【保護者】	【スポンサークラブ】
山川 佳穂	幸洋・順子	群馬境RC	南出 萌那	清次・陽子	
富田 もも	直也・恭子	館林東RC	梨本 あかね	猛夫・華代子	伊勢崎RC
飯塚 さゆり	直久・啓子	前橋西RC	布施川 祥子	秀紀・史子	前橋西RC
諸星 奈々	光明・仁美	安中RC	茂木 大知	敏彦・まゆ美	富岡RC
			平野 七瀬	康文・京子	
			小倉 佑太	通彰・和代	

安藤ガバナー・疋田ガバナーエレクトのご出席を得て盛大に開会されました。

又、4名のガバナー補佐の皆様、2名の地区幹事の皆様と大勢の地区役員の方々のご出席をいただき、大変ありがとうございました。

委員長より、派遣交換学生の皆さん選考試験の結果、内定者となった夏期交換学生4名と長期交換学生6名に対して、大変おめでとうございましたと、お祝いを申し上げ、然しまだ内定ですので、これから来年8月の出発まで10回のオリエンテーションを受講する事や普段より生活態度にも気を使い、家事の手伝いや派遣国の言葉はもちろん、日本の事についての勉強も大切だと、挨拶をされました。

安藤ガバナーのご挨拶に『過去は変える事が出来ないが、未来は変える事ができる』どうぞ学生の皆さん、明日を希望あるものに変えて下さいと、激励なさいました。

疋田ガバナーエレクトからは、夏期交換学生4名、長期交換学生6名に対して2840 地区(群馬県)の代表である事、又、親善使節である事の自覚を持って頑張ってきて下さいと激励なさいました。



平田副委員長より

1. ロータリーについて

ロータリー・クラブとは、地域社会の人々の生活の質を高める為に活動し、あらゆる職業における高い道徳的水準を奨励し、親善や平和を築くために助力している奉仕組織です。

2. 年間スケジュールについて

交換学生・内定者の皆様には今後10回のオリエンテーションが予定されておりまた、ロータリーの諸活動に参加して貰う機会が数回あります。日時につきまして決定ご連絡致しますので自身のスケジュール管理をお願い致します。

3. 交換学生の個人負担について

- ・オリエンテーションの費用負担について
- ・英会話教室(授業)日程と費用について
- ・交換学生用ブレザー費用について
- ・対象者人数等の関係上以前とは異なる事が多々あります。(過去と同一ではない)



クリスマス会 II部

オリエンテーションの一環としてのクリスマス会と12:00よりスタートいたしました。

アメリカでのパーティーで戸惑う事が無いようにと、催されました。マナーの勉強も兼ねていますとの事。乾杯の後、少し堅い表情でしたがROTEXの時間になった瞬間、会場の雰囲気が一変しました。

名司会の齋藤美葵さんに圧倒されました。庭屋会長を始め、上代純子さんと関菜央美さんも加わり派遣学生10名を巻き込み、○×ゲームで英語も交え盛り上がりました。それから、ダンス合戦もあり大変楽しく過ごしました。ROTEX 万歳!

最後に安藤ガバナーより派遣学生へクリスマスプレゼントが贈られました。

アメリカに持って行けるものとの心遣いの扇子やら小物類をプレゼントされたようです。あっと云う間の2時間でした。ありがとうございました。

4. 交換の準備について

今後諸手続きを進めるに当たり提出期限等をお伝えいたしますが、このプログラムをスムーズに進めるために期限は厳守してください。参加が決定した後に準備すべきもの

- 1) パスポート
- 2) 学生ビザと保証書式
- 3) 航空券
- 4) 健康保険
- 5) 予防接種に関する書類
- 6) 歯科検診・健康診断



関根委員より

長期・短期交換学生の申請書、データ配布し詳細に説明がなされた。

続いて、ROTEX による注意事項と云う事で、庭屋貴史会長・齋藤美葵さん・上代純子さんより派遣学生への出発前の心構えやアメリカ各地区の様子について経験を元に詳細に説明がなされ、派遣学生にとっては大変興味のある話でした。これからのオリエンテーションにも参加して先輩としての体験談も話してもらおうと約束してくれました。



ガバナー公式訪問報告 館林ミレニアムロータリークラブ

会長 小野 久男
幹事 尾花 正貴

7月21日(木)に安藤震太郎ガバナー・斎藤ガバナー補佐そして川本地区副幹事をお迎えしての公式訪問が開催されました。

会長エレクト研修会や公式訪問でのご講話で直接お話をお聞きして感じたことは「クラブの責任ある自主性の尊重」を大変強く強調されたことでした。更に「私」の原点である「家族」とその絆である地域社会の中での「活動」とそれを更に次のレベルに高めようとする努力がまさに「継続の力」なのだとお話下さいました。またマハトマ・ガンジーの「世界の変化を望むなら自分自身がその変化にならなければならない」との言葉を引用して私達自身を高め、クラブを大胆に変革させることによつての喜びある世界を築きあげようという大変有意義なお話をしてくださいました。

公式訪問を終えて、会員一同新たな気持ちで邁進していきたいと思ひます。

安藤ガバナーには長時間にわたりご指導頂き大変ありがとうございました。



ガバナー公式訪問報告 中之条ロータリークラブ

会長 山田 信行
幹事 本嶋 茂雄



●ガバナースピーチ：安藤震太郎ガバナー

今年1月サンディエゴの国際協議会で、RI会長より「こころの中を見つめよう博愛を広げるために」とテーマが発表されました。強調事項は家族、そして継続、変化。皆の為を思う心は、自分と未来を考える事ができます。「積極的に参加」する事をお願い致します。

クラブ協議会



会員増強は、誘う側との年齢の差、ライオンズとの兼ね合い等の問題もありますが、3～5年計画で取り組んでいきます。



ガバナー補佐のときは、大変お世話になりました。ロータリー財団の目標達成に向けて頑張って取り組んで参ります。



社会奉仕では、植樹・ミニバス支援・鳥追い祭の餅つき・福祉施設慰問など、地域への貢献活動を展開していきます。



米山の運用について、見直す時期にきているのではないのでしょうか。現在の状況を踏まえて改善していただきたいと思います。

ロータリーのパワーを外に向けて出すには、新しい力を入れなければなりません。世の中には、新しい職業が誕生しています。タウンページを見れば参考になります。増強会議を1度だけでなく継続してください。「こんな職業の人を知ってるよ」という声が出るようになります。しかし、無理をして入会させても直ぐに辞めてしまいます。趣味の会を通じて誘ったり、クラブの雰囲気を感じてもらったり、工夫が必要です。また、このクラブのブランドを創ることも効果があるでしょう。地域の行事に力を入れるのは大切です。ぜひ継続してください。震災への取り組みもお願いしたい。ロータリー誕生は1905年2月23日でした。戦争と文化、20世紀の節目でした。今のロータリーは21世紀を担う役割があります。財団が変わりました。地区で使える割合が増えました。また、米山は800人の面倒を毎年みています。これに14億5千万円かかる。ご理解ください。しかし、改善の趣旨は、しっかりと伝えます。



以上をもちまして、クラブ協議会を閉会します。安藤震太郎ガバナーのご指導に感謝いたします。

ガバナー公式訪問報告 伊勢崎南ロータリークラブ

会長 神倉 哲雄
幹事 鷹巣 修

9月6日(火)国際ロータリー2840地区安藤震太郎ガバナー・谷 彰良カバナー補佐・市川 豊行地区副幹事をお招きし公式訪問が開催されました。

冒頭懇談会では7月に伊勢崎で開催されたインターアクト年次大会の運営に対する慰労の言葉を頂きました。RI会長方針、地区方針に関しては例会にてお話になるとの事で主にクラブ運営に関する課題等を中心に色々な面でご示唆いただきました。

また東日本大震災寄付金に関しましても誠意あるご説明をいただきました。

続いて例会に入り講話としてRI会長方針、地区カバナー方針を明確にご説明いただきました。ロータリークラブとして意義ある活動、行動をすること、そして活動計画を作成しメンバーでそれを共有し目標を達成することがクラブの活力と退会者防止に繋がるのではないかというお話をいただきました。

例会後記念写真をとり、その後1時間ほど安藤ガバナーを囲んで懇談会が開催されました。当クラブは若い委員長も多く、その中でガバナーは素朴な質問でも親しみのある応答をしていただきロータリークラブの活動に対する理解・意欲が得られた公式訪問となったようです。本当にありがとうございました。



ガバナー公式訪問報告 沼田ロータリークラブ

会長 水石 清治
幹事 宮内 明彦

日 時:2011年9月13日(火)AM11:30~PM3:00
場 所:利根郡信用金庫本店 例会場

沼田ロータリークラブへの安藤ガバナー公式訪問が9月13日(火)に行われました。

当日は、例会前の午前11時30分から約1時間を安藤震太郎ガバナー、飯島啓一ガバナー補佐、島津文弘地区幹事、水石会長、宮澤会長エレクト、幹事との懇談会が和やかな中で行われました。安藤ガバナーは、横山ガバナー年度にガバナー補佐をされていて沼田市内に泊られたこともあり、沼田市の印象を昨日のこのようにお話しになりました。

公式訪問例会では、例会行事の後に安藤ガバナーより講話をいただき、1月に開催されたサンディエゴ国際協議会での出来事や、RI会長カルヤン・バネルジー氏の本年度テーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」について、博愛とは、全ての人を平等に愛する心、皆のためにとする心ということで、人類しか持っていないので大切であると話されました。また、ガバナーを引き受けて様々なことを学んでいくうちに新たなロータリーを考える必要性を感じているところに東日本大震災が発生し、ロータリーのみではなく地域の復旧、復興を共に行うことが必要であると痛感したともお話しになりました。それは、安藤ガバナーの記憶のなかに、終戦前日に高崎空襲があり、高崎が焼け野原と化した光景と重なり、日本の復興する力を信じてロータリーも協調していくと語られました。重点目標では、各項目についての詳細な説明と数値目標などを分かりやすくご指導いただきました。さらに、10月9日に開催を予定している地区大会についても多くの会員の出席をお願いしたいと締め括りました。

例会後は、理事役員、各委員会委員長との懇談会が催され、沼田クラブ各委員長から本年度の各委員会の目標や進捗状況を説明して、安藤震太郎ガバナー公式訪問が終了となりました。



ガバナー公式訪問報告 富岡中央ロータリークラブ

会長 井川 銀次
幹事 茂木 始

平成23年9月22日(木)当クラブの例会場であるホテルア
ミューズ富岡において安藤震太郎ガバナーをお迎えし、公式訪問
が行われました。

例会前の懇談会では、安藤ガバナー、豊川ガバナー補佐、三井田
地区副幹事を交え、和やかな雰囲気の中で会が進行しました。

その後、通常例会。例会では安藤ガバナーより講話を頂戴いた
しました。その中で特に3月11日に起こった東日本大震災にふ
れ、「何としても復興に協力しなければならない。」という強い思いやバネルジーRI会長の「三つの強調
事項」を話されました。

例会終了後記念撮影を終えクラブ協議会へと進みました。クラブ協議会では、会員増強、社会奉仕、R
財団、米山奨学会、国際奉仕の各委員長から当クラブの現況や目標について発表があり、ガバナーから
それに対して一つ一つ丁寧に説明、又ご指導いただきました。

会員増強は当クラブにとっても大きな目標の一つです。「魅力あるクラブ作りに全員参加で努める」と
いうガバナーのお言葉を深く胸に刻み、今後のクラブ運営に活かしたいと思います。

安藤ガバナーに心より感謝申し上げ報告といたします。



ガバナー公式訪問報告 藤岡ロータリークラブ

会長 村田 茂行
幹事 高橋 謙司

安藤ガバナーは、開口一番、「藤岡は、陶芸教室に通っていたり、長男の嫁さんの実家があり、非常に馴染みのある街です。」とおっしゃいました。安藤ガバナーがより身近に感じ、より親しみを持って卓話を拝聴致しました。

例会では、ガバナーから米山奨学生の栗暁玉さんに、奨学金を渡して頂き、スピーチは、2011-2012年度地区目標と数値目標について、一つ一つ噛み砕いて、解り易く説明して頂きました。

その後の、懇談会では。会員増強、社会奉仕、R財団、米山奨学各委員長等との意見交換を行い、あっという間に90分経過し、大変有意義な懇談会でした。

お忙しい中、ありがとうございました。



ガバナー公式訪問報告 藤岡南ロータリークラブ

会長 阿野 行男
幹事 市村 信也

平成23年9月30日(金)に安藤震太郎ガバナーの公式訪問を開催させて頂きました。訪問頂いたのは安藤震太郎ガバナー、豊川一男ガバナー補佐、川本裕明地区副幹事の方々と、AM11:30から会長、幹事、会長エレクト、奉仕活動委員長、藤岡中央高校町田教諭、インターアクトクラブ生徒4名で懇談させて頂きました。

東日本大震災で被災されました山田町ロータリークラブへの支援について、インターアクトの活動状況、会員増強等についての意見交換が行われました。山田町ロータリークラブへの早い支援に対しては、安藤ガバナーも大変喜んでおられ、私達の活動に自信を持つことができました。安藤ガバナーの人柄でしょうか、気さくに意見交換ができ、有意義な時間を過ごすことができました。

AM12:30からは例会において、家族の大切さや継続の必要性を説かれており大変勉強になりました。この公式訪問で頂いた数々のご指導を元に、今年度の活動も有意義になるよう頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

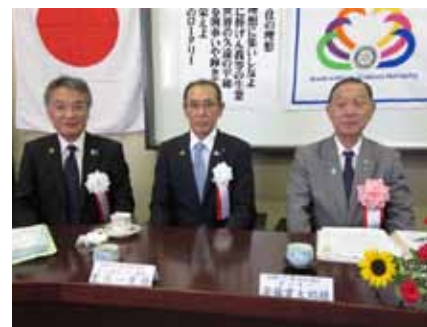


ガバナー公式訪問報告 藤岡北ロータリークラブ

会長 深井 正毅
幹事 畑元 浩

安藤ガバナー記念講話

本日の訪問を心待ちにしておりました。実は、根本会員とは15年ほど前からの知り合いで、藤岡の名水を分けていただいたことがあります。今日は、お会いするのを楽しみに参りました。今月号の月信が回覧されておりますが、「西崎キクと『一三式水上練習機』」が10月号の表紙となっております。日本女性で初めて水上飛行機の操縦士になった西崎キクさんは、お隣の埼玉県上里町出身の方です。上里町役場には資料が展示されています。本日、公式訪問させていただいたのも何かの縁かも知れません。私とはとにかく飛行機が大好きで、ガバナー月信の表紙は第1号の7月号から飛行機の絵です。興味を引く絵柄にして、月信の中を見てもらうのが目的です。ぜひ、中身もご覧になってください。今年度の目標は、「ロータリーに興味をもってもらおう」ロータリーを知ってもらうということを目的に、仲良く友好的にロータリーを学ぼうと思っています。さて、今年度のRI/バネルジー会長は強調事項として、『家族』『継続』『変化』を掲げられております。第2840地区の2011-12年度地区目標は、ロータリーの基本を学ぶことを第一に、満足度の高い魅力あるクラブ創りに努めたいと考えます。和気あいあいとした楽しいクラブ創りが会員増強に結びつくと思えます。ロータリー間の結束力を強めるため、ロータリーの会員が経営する土産物店・ホテル・レストラン等を掲載したパンフレットを作成し、地区大会でみなさんに配布する予定です。パンフレットを見て会員事業所を利用してもらえれば、会員の結束が図られると思います。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。東日本大震災の義援金ですが、2840地区では約2,500万円集まり、全国のロータリークラブでは10億円の金額が集まりました。そのうち、1億2,300万円については被災地へ送金しましたが、残りの8億7,000万円についてどのように分配するかガバナー会で検討しています。当地区はガバナー会へ送金した義援金を返金してもらい、その用途について改めて協議を進めているところです。その他の地区目標として、ロータリー財団の目標や米山記念奨学会への認識を高める、四大奉仕から青少年問題を含んだ五大奉仕への移行、会長賞やチャレンジャー賞への挑戦等を掲げました。数値目標とともに目標の実現にご協力をお願いいたします。」



渡辺長期戦略委員長

「ロータリーが誕生して100年が過ぎ、時代にあった組織の在り方を模索していかないと、組織の形骸化・弱体化が進む一方。21世紀のロータリーの在り方について、ガバナー会の中かではどう考えているのかお聞きしたい。」

安藤ガバナー

「世界的には会員の増えている国もあり、日本のように減少している国もあり、同じには語れないが、公共イメージを高め、ロータリーらしい活動をPRすることが大事。歴史と伝統のあるクラブほど昔風な組織を保っている。率先して変えていかなくてはならないと考える。」

山口研修リーダー

「ロータリーの活動とは何かというとき、国際貢献を重点的に考える。ポリオは？識字率は？活動内容をわかるようにしないと、何をやっているのかわからないまま。今回の大震災への取り組みが残念だったのは、迅速に被災者に義援金が届かなかったこと。ガバナー会は何をやっているのか、率直な気持ち。」

安藤ガバナー

「今回の震災は被災地が多地区に渡っている。他の地区では奨学金として高校生、大学生に支給している地域もある。ガバナー会は友好的な組織であり、定期的に会合をもっているわけではない。ポリオの件については、先日DVDを各クラブに送付してあるので、それをご覧ください。」

ガバナー公式訪問報告 碓氷安中ロータリークラブ

会長 田島 隆
幹事 山崎 悟

日時:2011年10月6日(木) AM11:40～ 公式訪問会場 並木苑

安藤ガバナー、豊川ガバナー補佐、三井田副幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が開催されました。例会前の事前懇談では、当クラブの現状などについて、いろいろなアドバイスをいただきました。例会の講話では、カルヤン・バネルジーRI会長の今年度テーマ「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」についてなどスピーチを頂きました。

また、例会後のクラブ協議会では、安藤ガバナー、豊川ガバナー補佐、そして三井田副幹事より貴重なお話を頂きまして、有意義な公式訪問が行われました。

皆様ご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



ガバナー公式訪問報告 伊勢崎ロータリークラブ

1 例会前懇談会

出席者：安藤ガバナー、谷ガバナー補佐、
三井田地区副幹事、藤生会長、
峯岸幹事、辻会長E、中里会長N、
牛久保R財団委員長、伊能研修委員、
森田R財団小委員長、臂RA委員長、
藤丸GSE委員、臂RA会長

日時：2011年10月12日(水) 11:20~12:00

場所：伊勢崎プリオパレス

司会の峯岸幹事が進行役を勤め、藤生会長、安藤ガバナーにそれぞれご挨拶を頂きなごやかな雰囲気の中、懇談会が開会されました。

引き続き藤生会長より下記の通り、当年度のクラブ目標が示され、特に出席率の維持については地区内NO.1を目指すとの説明がなされました。

1. 会員増強純増2名以上
2. 財団寄付1人100ドル以上
3. 米山寄付1人16,000円以上
4. ポリオプラス寄付1人24ドル以上

安藤ガバナーからは、当クラブが人数的にも70名を超える中で、常に出席率が90%以上を維持していることに対し、高い評価を受けるとともに、むしろ、その秘訣を教えてもらいたい旨の発言がありました。また、来年の国際大会の出席についても要請がありました。

伊能PPからは、会員増強については、牛久保PGの長年のテーマであること、自身も入会以来とにかく出席することを促され、声がかかった集まりには全て出席していたとの体験が話され、「例会を楽しくすること、と、出席を促すこと」に尽きるとの説明がありました。

また、当クラブが今年度、地域社会奉仕活動を活発に実施し広報のスタイルもマスコミを利用する等、公共イメージの向上の為に大きく舵を切っていることも報告されました。

出席率が高いことについては、牛久保PGからも発言があり、紹介者の責任として「出席できないなら入会を勧めない」ことが重要であり、出席について妥協してはならないとの説明がなされ、また、自らの公式訪問の経験からも「増強するファイトのないクラブは衰退する」との見解が示されました。

また、本日のゲストである臂RA会長からは、伊勢崎RAは現在5名で活動しており、例会出席率は90%を超えており、天啓園の活動をはじめ、地域社会奉仕活動にクラブと共同で参加している旨の報告がありました。

時間的に余裕があれば、上記以外の問題についても懇談を深めて頂きたいと感じましたが、12時になりましたので、谷ガバナー補佐にまとめを頂き閉会となりました。



2 クラブ協議会

地区出席者： 安藤ガバナー、谷ガバナー補佐、
三井田副幹事
クラブ出席者： 藤生会長他全クラブ会員
日時： 2011年10月12日(水) 13:15~14:15
場所： 伊勢崎プリオパレス

司会の峯岸幹事より開会が宣言され、藤生会長、安藤ガバナーからそれぞれご挨拶を頂き、協議会が始まりました。

予じめ安藤ガバナーより下記の4委員会に活動報告をしてもらいたい旨の要請があり、その順序で各委員長より報告が行われました。

1. 会員増強委員会
2. 地域社会奉仕委員会
3. R財団委員会
4. 米山記念奨学委員会

初めに、会員増強委員会の相沢委員長より、最近のロータリーは、増強を特に強調しているが、今日の衰退をもたらしたのは質よりも量を選択した結果ではないか、また、ロータリーのセミナー講師が「ライオンズの会員に入会勧奨すること」との発言をしたことに対する疑問が呈され、更に当クラブとしては、他クラブの会員増強にも協力、配慮してもよいのではないか、との持論が説明されました。

これに対して、安藤ガバナーからは、先の発言は、ライオンズクラブが消滅した地域についての例外的な発言ではなかったのではないかと、また会員増強については、入会した人を肯定的に育成することが重要であり最初から質か量かということではなく提えてもらいたい、新入会員なくクラブが10年経過することを考えると、根底的には会員増強は必要なことである旨の説明がなされました。

次に、地域社会奉仕委員会の多部田委員長より、当クラブが実施している、下記の社会奉仕活動が報告されました。

1. 社会を明るくするパレードへの参加
2. 天啓園納涼祭支援
3. 広瀬川クリーン作戦への参加
4. ラクビー大会支援

また、過日行われた被災者家族をご招待しての、バーベキューや、また、来年の3月11日前後にも震災対応の企画も検討しており、改めて地域社会に発信していきたいとの説明がなされました。

これに対して、安藤ガバナーからは、当クラブの委員会の名称が地域社会奉仕委員会ということで、地域に着眼していることが素晴らしいとお話があり、絆の強い家族、ひいては絆の強い地域を築いてもらいたいとの要請がありました。

社会奉仕活動については、財団資金の有効活用ともつながる話でもあるので、未来の夢計画が始まるころでもあるので、調和を取って進めてもらいたいとお話を頂きました。

続いて、R財団委員会の臂委員長より、当クラブには牛久保R財団委員長もいらっしゃるの、例会での卓話等を実施し、R財団を通じて、世界との対話、世界への奉仕を実践していきたいとの報告がありました。

また、財団の基礎的な用語や知識についても、不足しているのでクラブ会員とともに理解を深めたいとの説明がありました。

特に未来の夢計画が始まると、企画力が大切となってくることから、今後とも準備を進め、財団が簡単に理解できるような広報活動も合わせて、クラブ内で進めていきたい旨の報告がありました。

これに対して、安藤ガバナーからは、財団は単なる資金集めではなく、財団は自分達のものであるとの認識を持ってもらいたいとお話があり、特に当クラブは財団委員長を輩出しているクラブでもあるので、リーダーとしてがんばってもらいたいとのことでした。

ガバナーは1年だけど、財団委員長は3年です。ともおっしゃってありました。



引き続き、米山記念奨学委員会の大澤委員長より今月は特に米山月間でもあるので、来週の例会で卓話(DVD)を実施するなど、当初目標より1,000円増額された、1人16,000円の寄付目標を達成した旨の報告がなされました。

また、合わせて、日本の学生が奨学生になれる可能性についてガバナーに対しての質問がなされました。

これに対して、安藤ガバナーからは、米山奨学寄付については、当2840地区は、全国34地区のうちの11番目に位置していることが紹介され、また米山奨学金については、貧困については、必ずしも選考基準の上位にはなく、日本と外国の掛け橋となる人材という部分が選考基準の上位にあることが説明されました。

また、奨学生が特定の国に傾りがちになることも、奨学会としては、十分認識してバランスをとっているとのことでした。

また、日本人の奨学生の可能性についても検討の対象であるとのことでしたが、組織の歴史や伝統もあるので、急激な変化は難しいのではないかの説明がなされました。

また、相沢委員長からは、米山奨学会自体の管理運営費の削減の努力が必要ではないか、との意見が述べられました。

また、牛久保財団委員長からは、財団と米山奨学会は、ロータリーの一番のメイン事業であること、また、ロータリーでなければできない大事業であることが説明されました。

また、地区会計を牛久保ガバナー年度で改革したのは、難しくしたのではなく、全会員に分かりやすく、オープンにしたということを理解してもらいたい旨の発言がありました。

これに対しましては、安藤ガバナーからは分かりましたというお言葉を頂きました。

また、伊能奉仕プロジェクトグループリーダーからは、本年度、当クラブにおいては、活発に社会奉仕活動が実施されているとともに、新聞・テレビ・ラジオ等マスコミを利用した公共イメージの向上にも力を入れていることが報告されました。

最後に谷ガバナー補佐からまとめのお話があり会員増強の必要性を改めて強調するとともに、特に当クラブには、分区内5クラブの財団活動をリードしてもらいたい旨の要請がありました。

以上で、1時間が経過し、峯岸幹事より閉会が宣せられ閉会となりました。

会場のセッティング等、設営上の課題も残りましたが、無事に終了することができました。会員の皆様のご協力に心から感謝致します。

報告書作成 森田副幹事



ガバナー公式訪問報告 桐生中央ロータリークラブ

会長 増田 浩三
幹事 水澤 享司

10月13日(木)に安藤ガバナーには、公式訪問に来桐いただき有難うございました。

当日は、まず会長・幹事等と懇談をいたしました。我々がビックリするほど桐生中央クラブについてご理解をいただいております、特に本年は「東日本大震災」という未曾有の事態もありその対応に忙殺されていらっしゃるなか、さすが安藤ガバナーと敬服いたしました。

例会においては、本年のテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」について具体的に解り易くお話いただき、ガバナーの想いが会員全員にいきわたった気がいたします。

また、強調なされた事項「東日本大震災への対応」と大きく新しく変わる「ロータリー財団(新しい夢計画)」については、クラブ全員が一致して対応をしていかなければとの認識を共有できたと思います。

桐生中央クラブの問題点としては、会員が少人数(24人)であることが挙げられますが当クラブとしては少人数の良さ、例えば会員の結束力・和気藹藹としたクラブ運営を生かしつつ、これまで注力してきた「青少年育成」活動を継続していくこと、そして生まれ変わる「ロータリー財団」への積極的な関わりを意識したクラブ運営をしていきたいと思っております。

最後になりますが、安藤ガバナーからの飛行機のお話を聞き、会員はガバナーに非常に親近感を抱くとともに、我々も何か趣味をもたなければと例会後会話が弾みました。

安藤ガバナーの今後のご活躍を期待申し上げます。

本当に有難うございました。



ガバナー公式訪問報告 桐生西ロータリークラブ

会長 江原 利夫
幹事 天沼 一夫

2011年10月14日(金)、桐生地区内5クラブの中で、最後に安藤震太郎ガバナーをお迎えすることが出来ました。家住ガバナー補佐からご紹介いただいた通り、いつも笑顔絶やさず温厚なお人柄に、公式訪問という緊張感がほぐれ有り難い限りでした。

また、会場に入られると、いち早く当クラブ会員の矢野PGにお気づきになって歩み寄り、敬意を払われたお姿を拝見して、ロータリアンの模範をお示しくくださったと感激致しました。

定刻通り11時30分から、安藤ガバナーとの懇談会を、地区役員、インター、ローターの関係各位も同席して、約1時間行いました。

点鐘時間の12時30分に、SAAのご案内により例会場にご入場になり、クラブ会員の歓迎の拍手でお迎え致しました。また、ガバナー公式訪問にあわせて新会員入会式を行い、安藤ガバナー直々にロータリーバッジを2名の新会員に授与して戴きました。更に、安藤ガバナーを歓迎して、ニコニコBOX・ロータリー財団・米山BOXの拠金が多く寄せられ、目標額達成に大きく貢献して戴きました。

そして、メインイベントのガバナー講話でも、お人柄がしのばれる優しい語り口調で、大変分かり易く、RI会長やRIテーマ、地区目標などについて、ご説明いただきました。何より印象深く心に残ったのは、ガバナー月信表紙の挿絵『飛行機』についてと地区のテーマバッジについてお話された時のご様子です。少年の様に『飛行機』について楽しそうに熱心に語られる安藤ガバナーに、尚一層の親近感が湧いて参りました。

例会後、出席者全員で記念写真を撮った後、別室でたっぷり1時間、安藤ガバナーによるクラブ協議会を行い、ご指導いただきました。

8日は地区指導者セミナーとRI会長代理歓迎会、9日は地区大会、そして当クラブの公式訪問の翌日はライラ研修と、心身共に大変お疲れの中、終始笑顔でご指導いただきました事に、心から敬意を表し、御礼申し上げ、ご報告と致します。



ガバナー公式訪問報告 前橋ロータリークラブ

会長 板垣 忍
幹事 狩野 明

平成23年10月25日(火)にRI第2840地区2011-12年度安藤震太郎ガバナーの公式訪問を頂きました。当日は最終例会日の為、会場がロイヤルチェスター前橋にて開催されました。ガバナーとの懇談会・例会・ガバナー懇親会のスケジュールで廣山ガバナー補佐・島津地区幹事にもご出席頂きました。11時20分からガバナーとローターアクト会長とインターアクト委員など14名で懇談会を開催し、活動内容についての意見交換がされました。今年はローターアクトがホリディン前橋に参加し大変盛況であったことを報告しました。

例会のガバナー講話では、ロータリーの基本を学び、魅力あるクラブ創りに勤め、会員増強と組織強化を行い、ロータリー財団の目標を達成し、米山記念奨学会への認識を高めましょうとお話しされ、さらにRIのテーマ「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」やポリオ撲滅について貴重なお話を頂きました。

例会終了後記念撮影をし、その後ガバナー懇親会にて25の全ての委員会の運営方針と事業計画の説明の基にガバナーとの貴重な意見交換ができました。特に本田クラブ長期戦略委員長からロータリーの理想の実践に向けて、長期戦略的な将来ビジョンについての活動報告と菊川地域社会奉仕委員長からは今年度二回目となる前橋市教育委員会と前橋6ロータリークラブ共催で行われる「まえばし学校フェスタ2011」について、ガバナーとの貴重な意見交換ができ今後の活動に向けて大変意義ある懇親会となりました。



ガバナー公式訪問報告 高崎シンフォニーロータリークラブ

会長 三村 浩司
幹事 長井 典夫

創立時の当クラブは、高崎北RC(重田政信ガバナー)をスポンサークラブとして1995年に創立され内藤良治特別代表でした。

今年度の第2840地区安藤ガバナーも高崎北RC出身であり、当クラブの育ての親クラブでもあります。公式訪問の2週間前に山本豊ガバナー補佐をむかえて、時間調整、親クラブ子クラブとして気楽な気持ちで対応等事前打ち合わせしアドバイスをいただきました。

当日は、通常使用している例会場が使用できないため、急きょ例会場をグランドパティオ高崎に変更したこともあり大変心配しておりましたが、当クラブの地区役員、福田泰久地区会計監査人、横山正男副幹事、宮田正枝社会奉仕委員会委員長、豊泉君代青少年交換委員、当クラブ役員、三村浩司会長、長井典夫幹事、八木健司郎会長エレクトが早めに例会場に来て、安藤ガバナーの到着をロビーにてお迎えし11時30分より別室にて安藤ガバナー、島津文弘地区幹事、山本豊ガバナー補佐と、上記7名の合計10人で懇談会をいたしました。安藤ガバナーからはこれまでに、40程廻られた各クラブの印象をお聞きし、これから当クラブの進む方向、長期計画、2年、3年と先のことを考えてほしい、八木会長エレクトに期待しますとお言葉もいただきました。

別室にて50分間の懇談を終え、例会場へ移動、会員が拍手にて安藤ガバナーを迎えることができました。

安藤ガバナーによる講話の20分間からは「東日本の大震災」、ロータリーの基本「奉仕の理想」を再確認いたしました。

例会後の懇談会では、午前の10人と各委員長も加わり、90分間の懇談が行われ、複数のクラブによる奉仕活動事業への取り組みをしてはどうですか?これまでの成功例を話されました。

予定時間、3時10分頃になり、安藤ガバナーによるロータリーの基本を再確認して「奉仕の理想」に努める事を誓い、無事終了となりました。



ガバナー公式訪問報告 高崎ロータリークラブ

会長 深堀 達義
幹事 丸山 和久

2011～2012年度 RI2840地区 ガバナー 安藤震太郎 君 講話



金沢地区大会、お世話になり、ありがとうございました。
又、高崎RCから市川さん、関口さん、田中さんに地区役員になっていただき、ありがとうございます。
先週、金沢の地区大会へ行ってまいりまして記念講演が3つもあり、当地区とはずいぶん違うものだと思いました。
2840地区の全クラブ訪問を目指してまいりましたがあと、3つですべて終わります。
今後は、他の地区大会を回ってみたいと思います。

ガバナーとの懇談会

糸井会員増強委員長



大きな催しの中でわかりやすいRCの伝え方で、会員増強を目指していきたい。

安藤ガバナー

よい話をいただきました。若い人の入会は、若い人を知ることからだと思います。

服部ロータリー財団委員長



会員皆さんからの浄財を募って、目標を達成したい。

水島米山奨学委員長



神宮社会奉仕委員長



JTさんと清掃奉仕を行いました。できれば、6RC全部で地域に密着した活動を行っていきたい。

安藤ガバナー

私も同感です。まずは、小さな活動から話し合っ行ってきたいと思います。

島津地区幹事

警察署長から、RCの方が歩いているだけで、町の看板になるとのお話をいただき、1000円のRCキャップをかぶって散歩をしている。1000円でRCの広報ができるので、素晴らしいと思う。

山本第3分区ガバナー補佐

会長エレクトは、他クラブ訪問を行っていただきたい他クラブを見ると、自分が何をすべきかが見えてくると思います。



国際ロータリー第 2840 地区 2011-2012 年度

地区主要行事一覧表

(2012.1.1現在)

		開催日	項目	場所
2012年	1月	1月7日(土)	16:00 第3回ガバナー諮問委員会 18:00 GE壮行会	ホテルメトロポリタン高崎
		1月15日(日)	米山奨学生選考会	ホテルメトロポリタン高崎
		1月21日(土)	R財団・地区補助金審査会	高崎ビューホテル
	2月	2月4日(土)	第4回ガバナー諮問委員会(GE報告)・規定審議会・補欠議員選出	高崎ビューホテル
		2月18日(土)	米山奨学生修了式・奨学生歓迎会	高崎ビューホテル
	3月	3月22日(木)~25日(日)	インターアクト国際交流事業	台湾
		4月14日(土)	地区米山カウンセラーセミナー・オリエンテーション	高崎ビューホテル
	4月	4月20日(金)~22日(日)	インターアクト国際交流事業(受け入れ)	伊勢崎市立伊勢崎高等学校
		4月21日(土)	ローターアクト年次大会	高崎ビューホテル
	5月	5月6日(日)~9日(水)	国際大会	バンコク
		5月26日(土)	第4回 ガバナー補佐・委員長合同会議	ホテルメトロポリタン高崎
	6月	6月3日(日)	米山奨学会学友会総会	高崎ビューホテル
		6月30日(土)	16:00 第5回ガバナー諮問委員会	高崎ビューホテル
		6月30日(土)	18:00 新旧地区役員連絡会議	高崎ビューホテル
	8月	8月	会計監査報告	

国際ロータリー第 2840 地区 2012-2013 年度

地区主要行事一覧表(予定)

(2012.1.1現在)

		開催日	項目	場所
2012年	1月	1月12日(木)	第1回ガバナー補佐・委員長予定者会議	桐生・商工会議所
		1月15日(日)~1月21日(土)	国際協議会	アメリカ・サンディエゴ
	2月	2月19日(日)	地区研修セミナー	桐生・
	3月	3月10日(土)	会長エレクト・幹事エレクト研修セミナー (PETS&SETS)	桐生・プリオパレス
	4月	4月7日(土)	第2回ガバナー補佐・委員長合同会議	桐生・プリオパレス
		4月22日(日)	地区協議会	桐生・市民文化会館
5月	5月6日(日)~5月9日(水)	国際大会	タイ・バンコク	
6月	6月 日()	ガバナー補佐会議(午前)・地区会員増強セミナー(午後)		
	6月 日()	ローターアクト地区協議会・地区指導者研修会		

国際ロータリー第 2840 地区 2011-2012 年度

周年行事予定クラブ

クラブ名	周年	予定日	開催場所	実施・規模
桐生西	40	2011年11月19日(土)	桐生プリオパレス	
大泉	45	2012年 3月 7日(水)	三洋電機群馬保健センター	検討中
太田	55	2012年 3月29日(木)	ロイヤルチェスター太田	検討中
前橋東	35	2012年 4月12日(木)	ロイヤルチェスター前橋	予定通り実施
太田中央	20	2012年 4月14日(土)	マリエール太田	規模を小さく実施
高崎南	50	2012年 4月15日(日)	ホテルメトロポリタン高崎	予定通り実施
前橋北	30	2012年 5月13日(日)	前橋商工会議所	検討中
桐生赤城	15	2012年 5月19日(土)	桐生プリオパレス	予定通り実施



月信担当者より皆様へ

ガバナー月信についてのお願い

主に下記の要領で掲載しますので、ご協力お願いいたします。

1. ガバナーからのメッセージ
2. ガバナー補佐、地区幹事、委員会、地区副幹事からのメッセージ
3. 当月の主要行事の案内
4. クラブだより
5. 新入会員の紹介・訃報
6. 地区出席報告〈クラブ出席率の一覧〉

以上はインターネットホームページ上で配信しております。

■ 出席報告の締切は、毎月 7 日迄です。

出席報告の入力位置がトップページにありますのでご利用ください。

なお、ID とパスワードは各事務所お持ちとおもいますが、不明なクラブはガバナー事務局までお問い合わせください。

■ 原稿の締切は、ワード文書・エクセル書式・テキスト形式で毎月 15 日迄です。

写真等の画像がある場合は、デジタルデータでお送りください。

■ 新入会員の紹介、訃報のご連絡は、毎月 15 日までをお願いいたします。

(15 日以降のご連絡分につきましては、次月号の掲載になります。)

■ 月信の配信は、翌月 1 日に行います。

■ 新入会員・訃報は、略歴・写真を添えて、メールにて安藤ガバナー事務所 ando@rid2840.jp までお送りください。

月信担当 安藤ガバナー事務所 担当副幹事 竹中 隆

この月信の PDF データを印刷して、クラブの第一例会で会員の皆様に回覧いただきたく存じます。
よろしくお願ひ申し上げます。



会員だより

新入会員紹介



新会員名 長谷部 潤
 クラブ 前橋RC
 入会日 2011年11月15日
 職業分類 電信電話
 勤務先 NTT東日本
 役 職 県央・北毛地区統括部長
 推薦者 本田 博己



新会員名 高櫻 紀一
 クラブ 太田
 入会日 2011年10月27日
 職業分類 生花
 勤務先 (有)べるバラ
 役 職 専務取締役
 推薦者 竹内 正幸



新会員名 下田 正宏
 クラブ 桐生RC
 入会日 2011年11月14日
 職業分類 銀行
 勤務先 群馬銀行 桐生支店
 役 職 支店長
 推薦者 阿部 高久



新会員名 園田 勝則
 クラブ 太田
 入会日 2011年12月1日
 職業分類 結婚式場
 勤務先 (株)メモリード
 役 職 東毛地区営業担当部長
 推薦者 石川



新会員名 都丸 真査瑠
 クラブ 伊勢崎中央RC
 入会日 2011年11月17日
 職業分類 運送業
 勤務先 (株)トマル運輸
 役 職 代表取締役
 推薦者 小野 岳彦 大竹 昌樹



新会員名 金井 康二
 クラブ 沼田中央
 入会日 2011年11月17日
 職業分類 金物卸業
 勤務先 (株)カナイ・ヤ
 役 職 専務取締役
 推薦者 藤塚 勲



新会員名 狩野 俊郎
 クラブ 高崎北RC
 入会日 2011年12月14日
 職業分類 短期大学
 勤務先 新島学園短期大学
 役 職 学長
 推薦者 島津 文弘



新会員名 遠間 幸夫
 クラブ 安中
 入会日 2011年11月22日
 職業分類 地方銀行
 勤務先 (株)東和銀行 安中支店
 役 職 支店長
 推薦者 今井 三郎



新会員名 鈴木 英和
 クラブ 太田
 入会日 2011年10月27日
 職業分類 食品製造
 勤務先 サッポロビール(株)群馬工場
 役 職 工場長
 推薦者 石川 重政

会員だより
訃報



藤生 敬介 会員

太田ロータリークラブ

藤生眼科医院院長

2011年12月16日逝去

享年86歳

1968年2月1日入会

1972-1973年度 幹事

1975-1976年度 地区会計長

1977-1978年度 会長

米山功労者表彰(14回)

R財団ポールハリスフェロー

R財団マルチプルポールハリスフェロー(11回)

R財団ベネファクター



津久井 義孝 会員

太田ロータリークラブ

2011年12月18日逝去

享年84歳

1972年7月13日入会

1984-1985年度 会長

1986-1987年度 インターアクト委員長

1988-1990年度 群馬県第4分区代理

2006-2007年度 ガバナー

米山功労者表彰(5回)

R財団ポールハリスフェロー

R財団マルチプルポールハリス(3回)

謹んでお悔やみ申し上げます。



国際ロータリー第 2840 地区 2011-2012 年度

ロータリー文庫通信 (292号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

ガバナー月信より

■「クラブ活性化の為の知恵」

大澤徳平 2011 / 1P (D.2640 月信)

■「ロータリーの意味(3)人間モラトリアム」

久野薫 2011 / 4P (D.2680月信)

■「ロータリーの意味論(4)因縁果律」

久野薫 2011 / 4P (D.2680月信)

■「ロータリーの意味論(5)犠牲なき奉仕」

久野薫 2011 / 4P (D.2680月信)

■「基本」

玉井公詞 2011 / 1P (D.2650月信)

■「会員増強におもう」

杉本直 2011 / 1P (D.2650月信)

■「最近思うこと」

大西省司 2011 / 1P (D.2650月信)

■「例会は楽しいですか~『職業奉仕について』」

森玄房 2011 / 2P (D.2550月信)

■「日々是職業奉仕」

大澤徳平 2011 / 1P (D.2640月信)

■「10月職業奉仕月間に因んで」

米田眞理子 2011 / 2P (D.2640月信)

[上記申込先:ロータリー文庫]

ロータリー文庫

- 〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
- TEL.03-3433-6456 ●FAX.03-3459-7506 ●<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
- 開館=午前10時~午後5時 ●休館=土・日・祝祭日



第 2840 地区

11月 出席報告

クラブ数	会員数				
	月初	月末	純増減会員数	女性会員	当月出席率
47	1949	1950	1	77	82.26

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
			月初	月末	増減	女性	
第1分区	前橋	5	80.73	112	113	1	4
	前橋西	4	85.60	58	58	0	5
	前橋東	4	83.17	66	66	0	4
	前橋北	4	87.82	66	66	0	6
	前橋南	4	95.16	30	31	1	1
	前橋中央	4	78.45	30	30	0	6
	合計		85.16	362	364	2	26
第2分区A	桐生	4	86.16	65	66	1	0
	桐生南	4	77.09	24	24	0	0
	桐生西	4	92.78	49	49	0	0
	桐生中央	3	77.78	24	24	0	3
	桐生赤城	4	84.53	41	41	0	5
	合計		83.67	203	204	1	8
第2分区B	伊勢崎	4	91.47	72	73	1	0
	群馬境	3	82.54	32	32	0	1
	伊勢崎中央	3	91.00	66	67	1	0
	伊勢崎南	3	79.31	29	29	0	1
	伊勢崎東	4	88.28	32	32	0	2
	合計		86.52	231	233	2	4
第3分区	高崎	3	91.29	69	69	0	0
	高崎南	4	77.77	63	63	0	4
	高崎北	4	80.51	65	65	0	0
	高崎東	3	75.82	38	38	0	1
	高崎ソフォニー	4	81.76	37	37	0	3
	高崎セントラル	5	77.78	33	33	0	0
合計		80.82	305	305	0	8	

クラブ名	例会数	出席率 (%)	会員数				
			月初	月末	増減	女性	
第4分区A	太田	3	93.44	65	62	-3	2
	太田西	4	85.71	22	22	0	2
	太田南	5	80.87	44	44	0	0
	新田	4	88.04	27	27	0	0
	太田中央	4	80.36	42	42	0	1
	合計		85.68	200	197	-3	5
第4分区B	館林	4	82.22	47	47	0	0
	大泉	4	80.55	28	28	0	4
	館林西	4	87.49	19	19	0	0
	館林東	3	79.16	26	26	0	2
	館林ミレニアム	3	80.19	25	25	0	0
	合計		81.92	145	145	0	6
第5分区	渋川	3	88.50	58	58	0	3
	沼田	5	80.27	57	57	0	0
	草津	4	73.85	21	21	0	1
	みなかみ	4	87.00	5	5	0	0
	中之条	4	92.85	23	23	0	1
	沼田中央	3	88.88	57	57	0	0
	渋川みどり	4	70.00	45	45	0	3
	合計		83.05	266	266	0	8
第6分区	富岡	4	82.00	47	47	0	2
	藤岡	3	88.89	45	45	0	2
	安中	5	59.28	28	28	0	0
	藤岡北	5	70.63	17	17	0	2
	富岡中央	3	80.68	41	41	0	1
	碓氷安中	3	68.88	15	14	-1	2
	藤岡南	4	75.00	15	15	0	1
	富岡かぶら	5	74.78	29	29	0	0
	合計		75.02	237	236	-1	12